新聞記事　Newspaper Article

コスモポリタン賞にグリア氏

東アジアの文化や経済の発展に貢献した個人・団体を表彰する「奈良平城京－ＥＲＩＡアジアコスモポリタン賞」の第５回授賞式と記念フォーラム（読売新聞社など後援）が19日、奈良市の県コンベンションセンターで開かれた。

大賞に輝いた経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）前事務総長のアンヘル・グリア氏や、経済・社会科学賞に選ばれた世界銀行専務理事のマリ・エルカ・パンゲストゥ氏らが出席。国際研究機関「東アジア・アセアン経済研究センター」（ＥＲＩＡ）の西村英俊事務総長らが、吉野杉で作られた盾やトロフィーを手渡した。グリア氏は「2023年アジアの展望とＥＲＩＡの役割」をテーマに講演。アジアで経済成長の鈍化や政情の不安定さがみられる中で「我々が世代を超えた責任を持ち、地球という一つの惑星にいることを忘れず、国際協力していくべきだ」と語った。

読売新聞 / Yomiuri
2023.1.20. 朝刊

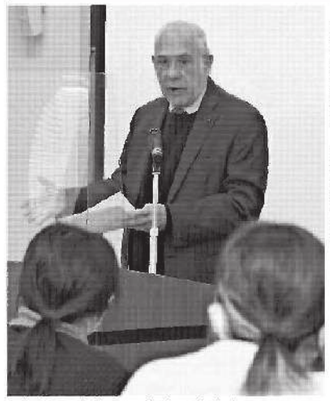
「世界変える熱意 行動に」

「コスモポリタン賞」グリア氏 県立大で講演

東アジアの文化や経済の発展に貢献した個人・団体を表彰する「奈良平城京－ＥＲＩＡアジアコスモポリタン賞」で大賞を受賞した経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）前事務総長のアンヘル・グリア氏が20日、奈良市の県立大で、学生ら約80人を前に講演した。

グリア氏は2006～21年の事務総長在任中、多国籍企業の課税逃れを防ぐ国際課税ルールづくりに尽力。加盟国や関係機関と交渉を重ねた経験を語り、「今できることだけをやっても世界は変わらない。どうすれば可能性が広がるかを考え、熱意を持って動いてほしい」と呼びかけた。

地域創造学部1年の大西亜弥さん(19)は「常に先の状況を想定して動く姿勢が勉強になった。納税の意味を改めて考えた」と話した。



学生らに向けて講演するグリア氏（奈良市で）

読売新聞 / Yomiuri
2023.1.21. 朝刊

アジアコスモポリタン賞記念フォーラム

大賞に前OECD事務総長グリア氏

加盟国増強など組織成長

奈良

県と東アジア・アセアン経済研究センター（ＥＲＩＡ）が主催する第5回アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2023が19日、2日間の日程で開幕。19日は奈良市三条大路1丁目の県コンベンションセンターで、授賞式と基調講演、受賞者による記念講演などを実施。20日は大賞受賞者が、奈良市船橋町の県立大学で特別講演した。

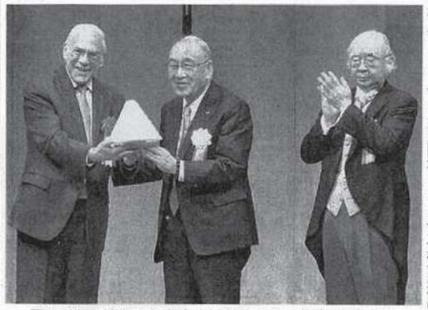
同賞は、質的に充実した東アジアの文化面、経済面の共同体形成に貢献した個人、団体を顕彰するのが目的。平城遷都1300年を記念して同賞を発案した県で授賞式を行っている。原則2年に1回の実施だが、第5回はコロナ禍のため2年延期されていた。

今回は、経済開発協力機構（ＯＥＣＤ）の加盟国増強、新興経済国との連携強化などで組織を包括的に成長させたとして、前ＯＥＣＤ事務総長のアンヘル・グリア氏を大賞に選出。経済・社会科学賞に世界銀行専務理事のマリ・エルカ・パンゲストゥ氏、文化賞に建築家で東京大学特別教授・名誉教授の隈研吾氏をそれぞれ選んだ。

また韓国初代文化部長官でアジアコスモポリタン賞の第1～3回選考委員も務めた故・李御寧氏、元ＥＲＩＡシニアエコノミストの故・ボンシアノ・インタル氏の2人にメモリアル賞を贈った。

授賞式では、西村英俊ＥＲＩＡ事務総長、姫野勉関西担当特命全権大使のあいさつに続いて、選考委員を務めた岡事務総長、荒井正吾知事らが、各受賞者にそれぞれ正賞の吉野スギの盾と副賞としてガラスのトロフィー、吉野ヒノキの明かりを手渡した。グリア氏らは「賞をいただき、とても光栄です。これを機にさらに取り組みを進めたい」などと喜びを話した。

続いて行われた受賞記念フォーラムであいさつした荒井知事は、「古代の国際的な交流拠点だった奈良で、世界の将来について考える機会を持つことはとても有意義」と話し、「フォーラムが東アジアのさらなる発展につながれば」と期待を寄せた。



アンヘル・グリア氏（左）に副賞を手渡す荒井正吾知事と西村英俊ＥＲＩＡ事務総長＝19日、奈良市三条大路１丁目の県コンベンションセンター

奈良新聞 / Nara
2023.1.31. 朝刊

アジアコスモポリタン賞

受賞者記念講演 参加募る

奈良で来月19日

東アジア共同体の充実に貢献した個人・団体を表彰する「奈良平城京－ＥＲＩＡアジアコスモポリタン賞」の第５回受賞記念フォーラムが、来年１月19日午後１時半から、奈良市の県コンベンションセンターで開かれる。受賞者らによる記念講演があり、国際社会における東アジアの未来を考える。

同賞は国際研究機関「東アジア・アセアン経済研究センター」（ＥＲＩＡ、ジャカルタ）が2012年に創設し、２年に１度授与されている。県とＥＲＩＡの主催でフォーラムを開催してきたが、新型コロナウイルスの影響で今回は４年ぶりの開催となる。

大賞は経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）前事務総長のアンヘル・グリア氏。主要な新興経済国との連携強化で、ＯＥＣＤを成長させたことが評価された。

経済・社会科学賞は世界銀行専務理事のマリ・エルカ・パンゲストゥ氏、文化賞は建築家で東京大特別教授の隈研吾氏。フォーラムに先立ち、能の公演と授賞式がある。

先着400人。参加希望者は25日まで（当日消印有効）に、はがきかファクスで、希望人数（４人まで）、全員の氏名・よみがな・代表者の氏名と住所、電話番号を明記し、〒604・8162京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634コンベンションリンケージ内・奈良フォーラム事務局（ファクス075・231・6354）へ。ウェブサイト（https://www.nara-cosmo2023.jp）からも可能。問い合わせは075・231・6357（平日午前９時～午後６時）。

読売新聞 / Yomiuri
2022.12.18. 朝刊

読売新聞 / Yomiuri
2022.12.05. 朝刊
2022.12.15. 朝刊